

教育メディア学会2008

## 高校で情報モラルをどう教えるか？ ～「教え込む」から「気付かせる」授業実践～

京都教育大学教職大学院 院生  
聖母被昇天学院中学校高等学校教諭  
岡本弘之

京都教育大学教職大学院  
浅井和行

教育メディア学会2008

## 情報モラルの授業の反省

- ①「〇〇してはいけない」という禁止ばかり
- ②一方的に教師が知識を提供する講義形式
- ③生徒は聞いているだけで、考えない
- ④ネット・ケータイは生徒の方が経験豊富？



情報モラルの授業はつまらない！

教育メディア学会2008

## こんな情報モラルの授業をしたい

- ①生徒の経験生かした授業をしたい！
- ②教え込むのではなく気付かせる授業！
- ③賢く利用するという**ポジティブな授業！**
- ④自分がどうするかまで考えさせる授業！



高校1年情報Aの授業(1時間)で  
実践してみました

教育メディア学会2008

## 考えた授業実践は

# 「ネットの達人」

メールケータイなど新しいコミュニケーションツール  
を賢く使う方法＝「達人技」を自分たちで考え、  
紹介しあう授業



教育メディア学会2008

## 展開① 失敗事例の共有

- ・メールの返信が遅れ、相手を怒らせてしまった
- ・夜中にメールが送られてきてびっくりした
- ・懸賞に応募したら関係のない勧誘メールが来るようになった
- ・自分のことをむやみにブログに書いてしまった
- ・自分・部屋の写真を載せたら変なメールがいっぱい来た
- ・自分の画像が他のサイトに無断で載せられていた
- ・メールアドレスを勝手に教えられた
- ・ブログに友達への不満を書いたらケンカになった
- ・掲示板で悪口を書いていないつもりが、書いたと言われた

教育メディア学会2008

## 展開② 成功事例の共有

- ・感情の伝わりにくさを絵文字でカバーする
- ・言いにくいことも伝えやすい
- ・他人の経験を知ることができる
- ・ホームページ・掲示板で同じ趣味の人とつながることができる
- ・自分のことを他人に知ってもらえる
- ・年齢層が違う人とも交流できる
- ・ブログには自分のプロフィールを書かないようにしている

### 展開③ 事例からの気づき

- ①相手意識（想像力）の薄さ
- ②ネットワーク上のトラブルへの無知識
- ③ネットワークの特性の無理解
- ④プライバシーにかかわる意識の薄さ
- ⑤文字だけの情報伝達の弱点

情報モラルで扱う内容



### 展開④ 達人技としてまとめる

成功事例・失敗事例の共有から「賢く」使いこなす方法を考え、短い言葉でまとめる



書道風の字体で印刷し、掲示し共有する



作品の投票を行うことでじっくり読ませた投票上位の作品について解説した

其の壱  
絵文字なら  
自分の気持ち 伝わるで

其の貳  
へたれはね  
メールできる これ基本

其の参  
ネットでは敬語敬称忘れずに

其の四  
見られても  
トラブルならぬブログ作り

達人技



### 授業の効果

- ①生徒が主体的に取り組んだ
- ②同年代の経験は説得力があった
- ③相手意識を育てやすかった
- ④単に知識を得るだけでなく、「自分がどう使うか」ということまで主体的に考えることができた
- ⑤「賢く使う」という学びは、生徒の日常生活の実践に取り入れやすかった

### 情報モラル授業のキーワード

- ①経験を共有させる
- ②相手意識を育てる
- ③「賢く」使いこなすという  
ポジティブな授業の目標設定
- ④知識を得る方法も教える



知っているだけでなく実践できる  
生徒（未来の大人）の育成を！

ご静聴ありがとうございました

